

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテや保管されている試料（血液・細胞・排泄物など）を利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

早期胃癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術後出血リスクスコアリングシステムの開発に関する研究

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院光学医療診療部

【研究責任者】 富田英臣（光学医療診療部 助教）

【研究代表者】 小池 智幸（東北大学病院消化器内科 准教授）

【研究の目的】

早期胃癌に対する低侵襲治療である内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）施行の際に、4-9%でESD後出血を認めるとされています。さらに最近では胃癌患者の高齢化によりESD患者における抗血栓薬の使用頻度が増加しています。しかしながら、出血リスクは抗血栓薬の他にも様々な要素から成るにもかかわらず、これらのリスクを層別化するようなシステムは報告されていないのが現状です。そこで、本研究では多施設共同研究にて早期胃癌ESD後の出血関連因子を同定し、ESD直後までに得られる情報に基づいた早期胃癌ESD後出血リスクを層別化するスコアリングシステムを開発することを目的としています。

【研究の方法】

（対象となる患者さん）2013年11月～2016年10月に当院において早期胃癌に対して内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）が施行された患者さん

（利用するカルテ情報）性別、年齢、病歴、内服されている薬の種類、検査所見、治療内容、臨床経過などの医学情報

【共同研究について】

この研究は、他の病院や研究施設と共同で行っています。

対象となる患者さんのデータ/試料は、匿名化されて、CD-R に保存した電子ファイルを郵送することによって東北大学病院消化器内科に送られます。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

<研究組織>

斗南病院（住吉徹哉）、国立病院機構函館病院（間部克裕）、弘前大学医学部附属病院（三上達也）、東北大学病院（小池智幸）、福島県立医科大学附属病院（引地拓人）、筑波大学附属病院（溝上裕士）、群馬大学医学部附属病院（浦岡俊夫）、千葉大学医学部附属病院（中川倫夫）、東京大学（藤城光弘、辻陽介）、国立がん研究センター中央病院（小田一郎）、東京慈恵会医科大学附属病院（炭山和毅）、順天堂大学医学部附属順天堂医院（上山浩也）、国立国際医療研究センター国府台病院（矢田智之）、虎の門病院（布袋屋修）、がん研有明病院（由雄敏之）、静岡県立静岡がんセンター（角嶋直美）、石川県立中央病院（土山寿志）、金沢大学附属病院（北村和哉）、福井県立病院（波佐谷兼慶）、滋賀医科大学（杉本光繁）、大阪大学大学院医学系研究科（竹原徹郎）、大阪市立大学大学院医学系研究科（永見康明）、市立豊中病院（西田勉）、大阪市立総合医療センター（根引浩子）、大阪急性期・総合医療センター（井上拓也）、和歌山県立医科大学（井口幹崇）、神戸大学医学部附属病院（森田圭紀）、山口大学医学部附属病院（西川潤）、周東総合病院（清時秀）、愛媛大学医学部附属病院（富田英臣）、愛媛県立中央病院（壺内栄治）、長崎大学（大仁田賢）

【個人情報の取り扱い】

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

<試料・情報の管理責任者> 東北大学病院消化器内科 八田和久

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院光学医療診療部 富田英臣

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5308

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の2(1)>

- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合